## 許可不要の改築 に係る審査基準チェックリスト

項目	摘要	適否	添 付 図 書	提出 指示	提出 確認
線引き時期	□1973(S48).03.27 □2001(H13).10.11 □1982(S57).12.16 □2012(H24).04.05 □1991(H 3).09.30				
既存建築物 の建築経緯 (都市計画法 上の適法性)	<ul> <li>① 既存建築物は、都市計画法上適法なものであること</li> <li>・当初建築物の建築時期:         (M, T, S, H年月日)</li> <li>・許可等履歴: 年月日番号: 号</li> <li>・建築確認履歴: 年月日番号: 号</li> <li>・属人性:有()・無</li> </ul>	□ きら 線引か在 □ 引引 線の 等 第	<ul> <li>◎既存建築物の建築経緯を確認する資料</li> <li>・建物登記簿謄本</li> <li>・納稅通知書(課税納付書)</li> <li>・確認済証等</li> <li>・航空写真</li> <li>・都市計画図</li> <li>・その他の資料</li> <li>○許可等の履歴を証する資料</li> <li>・都市計画法上の許可通知書</li> <li>・確認済証等</li> <li>⑥位置図</li> <li>⑥配置図(従前)</li> </ul>		
敷地の同一性	<ul> <li>② 従前の敷地の範囲内であること</li> <li>・(計画の敷地面積) (従前の敷地面積) m² ≤m²</li> <li>・ 従前の敷地拡大: □有(理由:) </li> <li>□無</li> </ul>		<ul> <li>●敷地の範囲等を確認する資料・建築確認を受けた配置図、求積図・公図・建築時の航空写真・都市計画図・その他の資料</li> <li>○土地登記簿謄本</li> <li>○配置図(従前・計画)</li> <li>○敷地求積図(従前・計画)</li> </ul>		
用途の 同一性	③ 用途分類表の区分(ロ)に変更がないこと ・既存建築物の用途: ・計画建築物の用途:  ※建築物の使用目的の変更,属人性に係る変更は対象外		<ul><li>◎現況写真(敷地全景)</li><li>◎用途を確認する資料・建物登記簿謄本・納税通知書(課税納付書)・確認済証等・その他の資料(住民票等)</li><li>◎平面図(従前・計画)</li><li>◎現況写真</li></ul>		
面積規模の 同一性	<ul> <li>① 改築後の床面積の合計が、改築前の1.5</li> <li>倍以下</li> <li>・(改築後の床面積の合計)(改築前の床面積の合計)</li> <li></li></ul>		<ul> <li>○既存建築物規模を確認する資料・建物登記簿謄本・納税通知書(課税納付書)・確認済証等・その他の資料</li> <li>○配置図(現況・計画)</li> <li>○平面図(現況・計画)(各面積記入)</li> <li>○現況写真(敷地全景)</li> </ul>		
周辺土地利用及び環境との整合	<ul> <li>⑤ 最高の高さ         (既存が 10m以下の場合)         □最高の高さ:m≦10m         (既存が 10m超の場合) 次のいずれにも該当         □ (改築後の最高の高さ) (改築前の最高の高さ)        m≦m         □ 建基法第 56 条の 2 第 1 項の規定に適合</li> </ul>		<ul><li>○計画建築物の立面図(高さ記入)</li><li>○既存建築物の立面図</li><li>(既存建築物の最高の高さが 10m を超える場合に限る。高さ記入)</li><li>○日影図</li></ul>		
凡例 ◎必要とする資料 ○場合により要する資料					
宅地造成工事規制区域内の場合			<ul><li>◎敷地縦横断面図</li><li>(現況、計画地盤面、造成高さ等表示)</li></ul>		

造成行為の有無: 有・無

<sup>※「</sup>従前」とは、線引き前の建築物にあっては線引き時、線引き後許可を受けた建築物にあっては許可時をいう。 「現況」とは,現在の状況をいう。